

2月1日に医療法人徳洲会へ埼玉医療生活協同組合が統合

2022年2月1日、医療法人徳洲会（医徳）に埼玉医療生活協同組合（埼玉医療生協）が統合、これにより徳洲会グループの医療施設運営法人は一本化しました。統合後の医徳は全国に71病院をはじめ約400施設・事業所を有します。

今回の統合により、徳洲会グループは1医療法人、8社会福祉法人、湘南鎌倉医療大学を運営する学校法人徳洲会、グループの本部機能をもつ一般社団法人徳洲会、その子会社2社で構成されます。

徳洲会グループは近年、法人の再編に取り組むべき重点項目のひとつと位置付け、病院や診療所を運営する法人の統合を進めてきました。再編の着手前は、全国に21医療施設運営法人が点在していましたが、2019年末までに医徳、医療法人沖縄徳洲会（沖徳）、埼玉医療生協の3法人にまで集約。2021年10月1日には医徳に沖徳が合併しました。

法人再編の狙いは、①業務の合理化・簡素化・公正化、②経費削減、③法人運営の適正化——の3点。資金の一元管理、医療機器や医療材料、医薬品などの有効活用、補助金や研修の申請など各種管理業務の負担軽減、各法人が交わす契約の経費削減、コンプライアンス（法令順守）・ガバナンス（統治）の強化、法人統一によるシナジー（相乗）効果など多様なメリットがあります。